

30周年記念大会を開催

小野町ソフトボールスポーツ少年団

10月7日、小野運動公園グラウンドにおいて、小野町ソフトボールスポーツ少年団創立30周年記念ソフトボール大会（吉田明大会長）が開催されました。

また、小野町ロータリークラブ（先崎元勝会長）は、小野町、飯豊の両チームに「ユニーホーム一式」を贈呈し、少年達のスポーツ振興と健全育成を応援しています。

この大会は小野町・小野町教育委員会の後援で、県中地区を中心に会津地区や県南地区から30チーム、約500名の選手が参加して、小町ブロックと東堂山ブロックの2ブロックにわかれ試合が行われました。

開会式では、来賓の穴戸町長や吉田教育長から「30年にわたり少年達に対してのスポーツ指導を通じた健全育成活動をたたえます。」との激励を受け、地元小野町チームの中野啓太主将が「選手宣誓を行いました。」

小町ブロックでは、地元の小野町ソフトボールスポーツ少年団が須賀川の稲田スポーツ少年団を1対0で破り優勝しました。東堂山ブロックでは、磐梯町の磐梯スポーツ少年団が郡山市の緑が丘スポーツ少年団を破り優勝しました。

各チームの選手は、きびきびとした動きで小学生とは思えないほどのプレーを展開し、保護者の大きな歓声と応援を受けていました。

小野町からは、飯豊スポーツ少年団も出場しました。



優勝した小野町ソフトボールスポーツ少年団のみなさん



元気な選手宣誓



お手伝い大好き

飯豊ひまわり保育園

「先生、お布団敷きに行ってください。」その日のお当番は、時計が8時45分になると午睡室に向かいます。1日交代のお当番、当番表を見ながら自分の順番が来るのを心待ちにしています。

布団敷きが終わると、「今日はお手伝いあるかな。」と給食室をのぞきます。野菜の皮むきから刻み・とうもろこしの皮むき・いんげんの筋とり・卵の殻を割るなど、いろいろな下準備をランクルームでお手伝いします。お手伝いした給食は特別です。配膳の後、食前のあいさつ

では「お手伝いしました。どうぞ食べてください。」と自然に言葉が出ます。他の子ども達も、お友達が手伝ったから、年長組のお兄さんお姉さんが手伝ったからと、身近な感謝の気持ちでいただきます。

子ども達はお手伝いが大好き。園での経験から、お家でもいろいろなお手伝いをするようになり、家族の役に立つ喜びや自立の心が芽生えます。まわりの人達からの「ありがとう」の言葉に、次のお手伝いを楽しみにしている子ども達です。



ヨイショ！力持ち！お布団を敷きます。



ニンジンの皮むき上手でしょう！